

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報(事後公表)

## 【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について(改善に向けた意見聴取)
日 時	令和4年11月21日(月曜) 9時30分～10時35分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書課会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与): 清水特別参与・山本特別参与 (職員等): 政策企画室(広報担当課長、広報担当課長代理 外) 福島区役所(企画総務課担当係長 外)
論 点	・区役所の広報活動について
主 な 意 見	(広報紙について) ・表紙については“インパクト”より“インタレスト”「興味を持ってもらえる」が必要。 ・タブロイド判からA4版に変更する場合、形を変えるだけではあまり意味がない。表紙も大事ではあるが、ページを開いた時に興味を持てるかが大切。 ・抜本的に変える意識が大切。スタート時は大変だが、企画の骨格部分がきちりしていると、その後スムーズに行く。 ・デザインは見た目をよくするという意味ではなく、「設計する」という意味 考え方のデザイン 情報のデザイン 表現のデザイン の順に実施するのが適切。 ・外部発注の前に職員が情報の整理整頓、取舍選択をしっかりと行い、情報を絞る必要がある。 (イベントのチラシ等について) ・定例のイベントの場合、一番集客があった回のチラシの分析を行うと良い。また、デザインに対する飽きはほとんど考えなくて良い。 ・ロゴマークだけでイメージは伝わっているので、どんな体験ができるかが具体的に伝わる内容になっているかということが重要。 ・また、開催時の写真を様々なパターンで撮っておき、次年度に活かしていくと良い。
結 論	・本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 (部 課)	政策企画室市民情報部広報担当